

△がんばります△

ユニサイクルクラブ 富士見台

私たちが本格的に活動を始めまして三年になります。「輪車」を通じて子どもも親も一緒に成長していこう! という団体です。

主な活動場所は富士見台児童センターですが、伊藤学園、富士見台中、上神明小、ウェルカムセンター原・交流施設などを借りて週に最低三、四日は練習をしています。品川区、大田区の児童が、下は保育園児から上は七年生まで、十四校から総勢四十名が練習に通っています。



(UCCF 育成会 記)

ている子どもたちを見かけることもあるかと思います。あたたかい眼差しで応援していただけたらとても嬉しいです。

(UCCF 育成会 記)

いる子どもたちを見かけることもあります。あたたかい眼差しで応援していただけたらとても嬉しいです。

△ベキュー大会など競技以外の活動もいろいろ。

練習メニューの枠をこえ、子どもたちの判断(力)を指導陣が見守りサポートしていくかと思います。

△円のボールには思わず手に

してみたくなる不思議な魅力があります。グラウンドの脇でボールで戯れるママも急増中。ぜひ気軽に遊びに来てください。

△連絡先△ 成見まで

○九〇一四〇九〇一三六九六
△ホームページ
<http://www.bamboo9.com/>

(しながわバンブーラグビー
クラブ 成見 記)

✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿

しながわバンブーラグビーカラブ

△九〇一四〇九〇一三六九六
△ホームページ
<http://www.bamboo9.com/>

(しながわバンブーラグビー
クラブ 成見 記)

△演技・競技・マラソンと大きく分けて三つの大会があり、それぞれが年にいくつも開催されていて、我々はどの種目にも挑戦しています。今年六月の東京演技大会では、グループ中学生以上の部が三位という快挙を成し遂げ、十一月一日(日)に静岡県大井川で開催された全国マラソン大会では、フルマラソンに挑戦した子どももいます。

△輪車を押して練習に向かう

△四回の大会参加のほか、夏のバ



（鈴木 記）

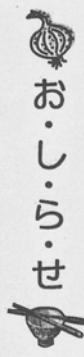
第92号
2008年(平成20年)
12月 季刊紙
一発行一
「お~い」編集委員会
品川区西大井4-1-8
大井第三地域センター内
TEL 3773-2000

品川歴史館を楽しもう

大井第一小学校と鹿嶋神社の間、池上通りに面した一瞬お城の櫓の様に見える美しい建物が品川歴史館です(品川区大井六一―)。休館日の月曜日を除いて、午前九時~午後五時まで開館しています。

中では原始から現在に至る品川を中心とした歴史を、映像、模型、資料で楽しく見ることができます。また、毎年十月~十一月には特別展(今年は東京湾と品川、よみがえる中世の港町)、二月~四月に企画展、七月~八月に夏休みの子どもさんを対象とした、触って楽しめる資料紹介展があります。

他にも茶室や小川の流れのある優雅な和風庭園の散歩はいかがですか? 詳しくは三七七七一四〇六〇まで。(小林 記)



ウェルカムセンター原・ 交流施設

地域住民が運営する交流施設

が九月末からスタートして三ヶ月になります。老若男女のダンスやコーラス、太極拳、一輪車などの練習で毎日ぎやかに利用されています。

利用を希望する場合、品川区の施設利用団体証の提示、または五人以上のグループで交流施設利用登録をしていただくとご利用いただけます。交流サロンは、練習の前後で食事をする人たちや、おしゃべりを楽しむ人たちなど、様々な利用があります。交流施設では、給湯設備を使い、備え付けの茶器でお茶を飲むこともできますが、その場合は茶葉は各自で持参となります。お帰りの際は後片付けをきちんとし、ゴミはお持ち帰り下さい。

来年の一月は、交流施設主催のフラワーアレンジメント教室や、犬のしつけ教室が予定されています。募集内容は『広報しながわ』十二月一日号に掲載されていますのでご覧ください。また、グラウンドがいよいよ一月中旬から利用開始の予定です。多くの皆さんに利用していただきたいと思っています。

(倉本 記)

『地域と共に』

「ふれあい作業所」は、品川区に居住する十八歳以上の知的障害者の通所作業所です。

知的に障害を持つ方が、地域の中でより多くの方々の理解を得、より多くの方々と関わりを持ち、ごく当たり前に共に生活していくことをを目指し、作業面や生活面の訓練等の支援施設としての役割を担う努力を続けております。

西大井本部の他、区内に一ヶ所の分室（西品川分室、荏原分室）があり、現在二十九名の作業生が通所しております。

運営の主軸になつている主な作業は清掃です。区内全域にわたっている百六十八カ所の公園の清掃を、他の福祉施設と協力しながら毎日行つております。厳寒の冬、猛暑の夏、そして山のようにならぬ落ち葉の秋、も、作業生達は持ち前の元気と根気で乗り切つて頑張っております。他に、牛乳パック等のリサイクルを中心とした自主製品の製作やサイクリング自転車の製造・販売も作業の大きな柱になっております。

過日十月二十六日（日）に、「第十六回ふれあい祭」を開催いたしました。『ふれあう心』ふれあう笑顔『ふれあう手と手』をテーマに、日頃お世話になっている地域

の皆様に感謝を込めると共に、施設のことをご理解いただき良い機会となりますよう、作業生をはじめ全員で一丸となつて準備を進めてまいりました。

作業生による「ふれあい神輿」や、各クラブの成果（和太鼓演奏・よさこいソーラン演舞・ハンドベル演奏・作品展示）の発表を行い、ご来場の皆様方からいたたくさんのご声援が、これらの大きな励みになりました。

盛況な内に祭を開催できましたのも、ひとえに地域の皆様方のご協力、ご理解があつてのことと、作業生ならびに職員一同心より感謝申し上げます。

これからも地域に根付き、愛され続けられる作業所になるよう、さらに努力をしてまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

（ふれあい作業所）

網倉所長 記



ふれあい運動会

「富士見祭」 クラスがまとまつた瞬間



十月五日（日）、伊藤小学校の校庭で第十四回ふれあい運動会が開催されました。

西大井六丁目同好会、学校幼稚園、PTAの協力で、じんけん大会やパンくい競争などの競技も行われ、四百名を超える参加者で盛り上りました。

本年度は耐震工事のため開催月が変わり、例年よりも参加者が少なくなりましたが、今日ばかりは大人も競技に参加できるとあります。次のように足が上がらなくなつて、その後日談が聞こえてくるほど、みなが張り切つていたようです。

地域の方々のパワーとあたたかい心にも触れ、親子のふれあいを感じるよい一日となりました。

（伊藤小学校PTA 古谷 記）



十一月一日（土）、「富士見祭」が行われました。午前中はステップアップ音楽や吹奏樂などの舞台発表、午後は合唱コンクールで盛り上りました。

富士見祭のストローガンを作っているとき、『クラスが一体となる』どのクラスも優勝を目指して、これまで練習してきた成果を十分に發揮できたと思いました。

最後に九年生全員で歌つた「大地讃頌」は、ぼくたちが富士見台中学校で三年間築いてきた強い絆が感じられたと思います。

最高の思い出ができたことを誇りに思います。富士見台中学校で来て本当によかった。

（富士見祭実行委員会

（伊藤学園PTA 戸梶 記）

伊藤学園 学芸発表会



さわやかな秋晴れの十月二十日（金）、十一月一日（土）の二日間にわたりて伊藤学園学芸発表会が開催されました。

来賓の方々やたくさんの方が見守る中、アリーナ2では一年生から四年生までが各学年ごとに色んなテーマにそつての劇や合唱、合奏を披露しました。

また、アリーナ1では五年生から九年生による合唱コンクールや発表が行われ、短い練習期間の中、どのクラス、学年も一致団結し、ハイレベルな素晴らしいハーモニーを聞かせてくれました。

少し緊張した表情で登場する子ども達が、大きな成長を見せてくれた驚きと感動の学芸発表会でした。

捨てたゴミ この先どうなる 考えて

